

みさかえの園だより

第5号 2008年7月
発行所

社会福祉法人 聖家族会
発行責任者 中山和子

編集 総合活動企画委員会

☎859-0167長崎県諫早市

小長井町遠竹2747-6

☎ 0957 - 34 - 4520

FAX 0957 - 34 - 4521

[年2回(7月 / 1月)発行]

「むつみの家落成式」 において

理事長 中山 和子



去る五月三十日、「むつみの家」の新築工事の祝別・落成式が新しいホールで盛大に行われました。
この式に出席できなかった職員の方々の為に、今号の「みさかえの園だより」をお借りし、当日の挨拶の一部を掲載させていただきます。

むつみの家は、昭和四十年に重症心身障害児施設として開園し、現在百八十床の施設として運営いたしております。旧むつみの家の建物は、四十年余り経過し、老朽化が著しく、また現行の医療法基準面積に比べて狭隘なことから、

長年検討してまいりましたが、同敷地内での解体・新築はかなりの難問でございました。幸いにも、地元の方々に広大な畑地等をお譲り頂き、この場所に全面移転新築することができましたことを深く御礼申し上げます。
この移転新築工事は、平成十八年二月から二十年二月までの二年間を掛けて行われました。新施設の計画に当たり、第一に各病棟・浴室・各種リハビリ室など生活・療養の場の利用者の利便に沿う、許す限りのスペースを確保し、障害者の方々の様々な医療の要望、相談その他のニーズに応



じる為、総合的な外来診療の設備を整え、さらに地域貢献の為、在宅福祉に應じる療育サービスのエリアを設けること等を重点として、設計をお願いしたところでございます。又、牧地区の住民の皆様には、施設の立地にご理解、ご支援を頂き、二年間の長い工事期間中、騒音、工事関係車両の往来等、いろいろご迷惑をおかけいたしました。
私どものすべての事業は、キリストの母マリア様に捧げられています。私たちは、マリア様の慈愛と奉仕に満ちた心を心として、職員一丸となつて、利用者の方々をはじめ人々の幸せと平和を願って与えられた職務遂行のため、精進してまいります。

す。

第5回 わくわくふれあいフェスタ

ともに支え合う地域づくりのために

盛りだくさんのイベントで皆さんを待っています!!

7月26日(土)
(10:00~15:00)
高来ふれあい会館
諫早市高来町黒崎 325



絵作品

バザー

わくわくランド

障害関係事業所の展示
障害関係の相談も受け付けます。

特集

きれいです！ 広いです！
「むつみの家」

今回の「みさかえの園だより」は、平成二十年四月一日に引っ越しを済ませたばかりの「むつみの家」の特集です。



中庭

コルクを原料に作られている
(歩いてみるとクッションが良い)



各病棟の生活、療養スペース



廊下の一部にあるベンチ 居室から出られるベランダ



食堂



温冷配膳車導入



各病棟に面会室が備えてます



居室（4人部屋）



観察室

編集部の感想

※ホテル並みの外観に驚き、開放感のある玄関、広い廊下に温かみのある各居室、何処を見ても素晴らしい一言に尽きます。又それ以上に生き生きとし、やる気に満ち溢れ、笑顔一杯に利用者の方と接しておられる職員の方々を目の前にし感動しました。



寝便所



機械浴槽



更衣室



学習室



手芸倉庫
(活動の場として利用)



機能訓練室

機能訓練室は、パーティションによって二つの部屋に区切られるなどいろんな用途に利用できるようになっています。
また、行事やイベントなど全活動の他に、日中活動の場としても利用しています。



聖心聖堂

前施設よりも広く、利用しやすい環境になっています。
心を癒す空間、静かに祈る場。



通園療育室



機械浴槽



一般浴槽

外来診察室



カウンセリング室



保護者控室



学習指導室
(養護学校訪問)



心理療教室

言語療法室 (PC)

在宅福祉にも応じる サービスエリア



地域交流室



福祉相談室



ボランティア室



集団指導室



言語療法室 (個別)



音楽療法室



作業療法室



運動療法室

※編集委員一同、た
め息ばかりの取材とな
りました。しかし古
巣へ帰ってなぜかホッ
としたのはなぜ？
みなさんもじっくり
とご堪能下さい。



※新築ってやっぱり気持ちいい！
いい！いい！いい！
思いながら歩く。一
く三階まで歩き回り少々足
が棒になりました。職員はちよつ
と大変かも。でもいい運動に
なるかも。夜勤は大変かも。掃
除も大変かも。でもやっぱり
いい！いい！など夢がふくら
みました。

※照明や放送機器の充実ぶり。
のぞみの家の利用者の日舞の
発表会をさせてもらえたら、
相互交流もできていいなあ？
※新築ってやっぱり気持ちいい！
いい！いい！いい！
思いながら歩く。一
く三階まで歩き回り少々足
が棒になりました。職員はちよつ
と大変かも。でもいい運動に
なるかも。夜勤は大変かも。掃
除も大変かも。でもやっぱり
いい！いい！など夢がふくら
みました。

※この空間は懐かしい感じが
しました。
※ひと言で言うところ「広い！」
ということ。各々に工夫があ
るなあと感心して拝見しまし
た。その中でも、訓練室は、
すばらしいと思いました。そ
こに一步足を踏み入れると、
前の建物の時の訓練室にいる
ような錯覚が。そして、

※機能訓練室（？）入ったと
たん旧施設の雰囲気を感じま
した。作りが似ていて利用者
さんも入室すると落ち着くと
のこと。私も見学していて、
この空間は懐かしい感じが
しました。

編集部の感想

新規事業
 < 多機能型日中活動事業所 >

デイスペース『あ ん』誕生

この度2年間のモデル事業を経て、新事業所として誕生しました。

どうしてこの事業を
 始めたの？

障害者自立支援法の施行に伴い、地域で生活する利用者の自立した日常生活や、社会生活を支援する目的で、新規に多機能型日中活動所『デイスペース あん』を開設し、地域福祉への貢献をはかることを目指しています。

場所はどこ？

今年4月に新施設に移転した『むつみの家』の中にあります。正面玄関に向かって左側にある“地域玄関”から入ります。現在、食事や入浴などの生活の場は通園と共有して利用し、日中活動の場は主に、“地域交流室”を使っています。



多機能型とは？

デイスペースあんは、<生活介護>と<自立訓練（生活訓練）>に分かれています。

デイスペース あん<生活介護> 定員10名	デイスペース あん<自立訓練 （生活訓練）> 定員10名
常時介護を要する利用者に対して、自立した日常生活を営むことができるように、入浴、排泄、食事等の介護、創作的活動又は生産活動などの機会を提供します。	利用者に対して、一定の期間にわたり、地域生活を営むうえでの生活能力の維持・向上、また、食事や家事等の日常生活能力の向上にむけての支援等必要な訓練を行います。

現在のあんは
 どんな事をしているの？

現在生活介護グループ、自立訓練グループは、創作（生産）活動や、レクリエーション活動などは一緒に行っています。例えば、装飾作り、ポスター、かご作り、和紙作りなど各自に出来る役割をもって、協力しあいながら楽しく取り組んでいます。また、自立訓練グループは、生活能力のアップを目ざして、掃除、洗濯、食膳準備、コップ洗い、喫茶準備などに積極的に取り組んでいます。



喫茶 『あん』 デビューにむけて…!

5月3日 みさかえ祭りにて…

会場（地域交流ホール）の装飾・ポスター作りに向け… メンバーで知恵を出し合い、個性豊かなアイデアあふれる作品が会場を華やかに飾りました。

そして、本番へ向けて何度も練習を重ねました。受け付け担当、コーヒーや紅茶などを入れる担当、ウエイトレス担当、食器を洗う担当と、各役割りを仕事としての意識をもち、動きの確認を何度も練習しました。

大盛況の『あん』喫茶コーナー!

～ いあっしゅいませ。 どうぞごゆっくり。～

元気な声でおでむかえ!



*今後喫茶『あん』が定期的にオープンされる予定です
皆さん遊びに来て下さい!



<売店コーナー>

地域交流ホール玄関前に可愛い小物がズラリ!
髪どめやコサージュ、タペストリー etc…
是非のぞいて見て下さいね。



「むつみの家」に 歯科診療室開設!

あゆみの家歯科医師 上野 圭

むつみの家の園長福田先生から歯科診療室を開設することのお話しを伺って、昨年末からその準備をはじめましたが、あつという間に四月を迎え、なんとか無事に歯科診療室をオープンすることができました。スタッフ一同「何よりも怖くなく、気軽に来られる歯医者さん」を目指して参ります。

診療室は、むつみの家の玄関を入って左側の外来診療室の隣に、歯科診療室があります。限られたスペースの中、機材選びから配置・配色などにも気を配り、どうしても無味乾燥になりやすい環境も全体的に暖色系の明るい診療室に仕上がりました。診療に使う診療チェアも、あゆみの家で使用しているものと同タイプのものでチェアの最低位が400ミリと低く、車椅子やストレッチャーからの移動がスムーズにできるものを採用しています。



むつみの家歯科診療室

スタッフも歯科医師一名、歯科衛生士二名でこれから診療に従事して参ります。

尚、診療日は毎週金曜日の午前十時から、午後四時半までとなっています。週一回の診療になりますのでむつみの家の利用者の方の診療が中心となり、予約の方も順次詰まっています。通所で来られる方の診療も随時受け付けて対応していきたいと思っておりますので、気軽に声を掛けて下さいます。

尚あゆみの家の歯科診療室は、昨年度まで週四日の診療をしてまいりましたが、むつみの家の診療室開設に伴い週三日に変更となります。

みさかえの園 サテライトセンターだより

(スマイルサポート 徳久 伸一郎)

今回は、継続的な相談支援が必要なケースに対応するために諫早市と協力して行なっている「諫早市特別相談支援事業」について紹介したいと思います。

諫早市内在住の障害をお持ちの方で、継続支援が必要な場合は、諫早エリアとして指定相談支援事業所（ソレイユ、らいふ、スマイル、スマイルサポートの計4か所）が諫早市と契約を結んで、対応いたします。支援方法としては、電話、来所、訪問による相談を受付したあと、アセスメント票を作成し、市の方に提出します。そこで、登録されると、支援をした月には月間の報告書を市のほうに提出するようになります。（スマイルサポートでは現在、64件の登録者がおり、通算報告数は168件にのぼります）また、月に一回は諫早市の方でミーティングを開き、情報交換や制度に関する勉強会、個別ケースの検討を行なっています。さらに、諫早市が社会福祉会館に設けた相談窓口であり、3障害（身体、知的、精神）対応の「諫早市障害者支援センター」とも連携するなど、市内の相談支援体制は徐々に構築されつつある状況です。



福祉車両「福祉相模号」 「第41回NHK福祉大相撲」

三月十八日
むつみの家に
て福祉車両の贈
呈式が行われま
した。この車両
は、「第41回N
HK福祉大相撲」
の純益により、
毎年全国各地の
福祉施設や団体
へ贈呈されてい
るもので、今年
見事むつみの家
も選ばれ今回の
運びとなりました。
ありがとうございました。



NHK厚生文化
事業団による
贈呈式

やる気満々の

フレッシュマン

新職員の感想

のぞみの家

川添智香子

のぞみの家は他の施設とは違い、女性だけの珍しい施設です。朝は、ラジオ体操やウォーキングからはじまり、日中には利用者がお仕事という形で、刺繍やビーズなど、その人に合った作業をしています。また軽度の方はお茶摘みや漬物作りなど、園外の作業にも参加しています。

私はのぞみの家に一度実習でお世話になったことをきっかけに就職を希望しました。それまでは知的障害者の方とかかわったことが全くありませんでした。全てのことが初めてのことで、どのように関わったらよいのか、どのような援助をしたらよいのか分らなく、戸惑うことも多くありました。

しかし、仕事をしていくうちに支援者の方にいろいろと教えていただいたり、利用者の方と関わるうちに、仕事内容や関わり方、援助方法など、だんだんと分るようになりました。

最初はとても不安でしたがとても楽しいと思うようになりました。また、それと同時に知的障害者の方との関わり方や援助方法などを

もっと学びたいと思うようになりました。

のぞみの家に就職してからは、実習とは違い日々の生活の中で、新たに利用者の方の対応の仕方や援助方法など多くのことを学んでいます。また、担当のクラスをもつたりと、仕事内容も覚えることが多くなり大変ですが、何事も経験だと思いいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

めぐみの家
第二めぐみの家

事務員 岳尾千歳



山桜の咲く三月末に唐津市の馬渡島の児童養護施設、聖母園より異動により、みさかえの園の緑と空気のやさしい自然界に迎えられて、皆様のお恵みを感じています。めぐみの家ではなつかしい利用者の方々、以前に在職中お世話になった職員の方々とお会いでき、共に働く機会を得ました事を光栄に思います。福祉の世界も日進月歩と他の業界とともに進歩する中、一昔と違ってコンピュータ時代の到来とともに事務内容も複雑化し、古い頭脳では困難な事もたくさんありますが周りの人々に助けられて、神に奉献されたものとして精一杯努力していきたいと思っています。これからも皆様に助けていただきながら、めぐみの家のために貢献できれば幸いです。

生活支援員 布川圭子

勤め始めて早いもので三ヶ月になろうとしています。独身時代に勤めていたとはいえ、時の流れ、指導方法、福祉のあり方が変わり戸惑いもありましたが支援介助の心は変わらないと思っています。今後も精進したいと思います。

保育士 松島美幸

就職してから二ヶ月が経とうとしています。新人職員として利用者の生活の場に入っていく、毎日忙しい日々を送っています。しかし日々の生活で大変さを感じながらも利用者との関わりで楽しみがある仕事だと思っています。施設の職員になりまだまだ未熟で戸惑いや不安はありますが「頑張ってね!」という利用者の一言で逆に私自身励まされています。

これからも頑張りたいと思います。



調理員 宮崎照子

三月から調理場で働いております。やっと仕事にも慣れてあつという間の三ヶ月でした。利用者の皆さんからはいつも声を掛けていただき元気をもらっています。これからも調理場の皆さんの手伝いをしながら頑張りたいと思います。

生活支援員 永友 愛

皆さんこんにちは。四月より第二めぐみの家の職員として働かせていただいている永友です。私の名前は「愛」と書いて「ちか」と読みます。利用者の皆さんや職員の方にも早く覚えて頂けると嬉しいです。まだまだ未熟な所も多く皆さんに助けてもらってばかりの毎日ですが、一所懸命、元気に頑張ります。



生活支援員 柴田春香

私は二年間他の職場で働いていましたが、縁あってここ第二めぐみの家で今年から働かせていただくことになりました。二年間の経験を活かし、又、皆さんと関わる中で皆さんの事を吸収していきたいと思っています。元気に笑顔で頑張ります。

看護師 野下しのぶ



私の名前は、シスターパウリナ・野下しのぶです。すいぶん穂（実がつかない）が立った新職員ですがよろしく願います。仕事の出発は名前と顔を覚える事です。覚える事だらけで、頭が痺れそうに感じながら早くも一ヶ月がたちました。めぐみの家に引っ越した初日の朝「なんとエネルギーに満ちた家なのだろう」とそのエネルギーに押し流されそうになりながら感動しました。

社会福祉法人聖家族会

19 年 度 決 算 報 告

貸 借 対 照 表					
科 目		金 額 (円)	科 目		金 額 (円)
流 動 資 産		1,547,108,558	流 動 負 債		108,035,745
資 産 定	基 本 財 産	3,956,952,909	固 定 資 産	長 期 借 入 金 (整備を含む)	36,000,000
	そ の 他 の 固 定 資 産	3,179,271,008		引 当 金	
			純 資 産	そ の 他 の 固 定 負 債	
				基 本 金	670,604,429
				積 立 金	2,892,419,022
				次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	4,976,273,279
				(う ち 当 期 繰 越 活 動 収 支 差 額)	532,393,677
合 計		8,683,332,475	合 計		8,683,332,475
事 業 活 動 (収 支) 計 算 書					
科 目		金 額 (円)	科 目		金 額 (円)
人 件 費 支 出		2,364,545,650	医 療 費 収 入		1,790,890,191
減 価 償 却 費		118,792,813	公 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金 取 崩 額		22,040,685
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出		474,808,960	そ の 他 の 事 業 活 動 収 入		1,617,915,008
支 払 利 息		2,322,000			
事業活動外支出		0	事業活動外収入		62,971,603
特 別 支 出		5,444,411	特 別 収 入		4,490,024
その他積立金積立額		343,000,000	その他積立金取崩額		1,200,000,000
次期繰越活動収支差額		4,976,273,279	前期繰越活動収支差額		3,586,879,602
合 計		8,285,187,113	合 計		8,285,187,113

各 施 設 の 住 所

ホームページ <http://www.misakae.or.jp/>

- めぐみの家・第二めぐみの家
☎859-0167 ☎0957-34-3112
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-10
- むつみの家 ☎859-0164 ☎0957-34-3113
長崎県諫早市小長井町牧 570-1
- のぞみの家 ☎859-0167 ☎0957-34-3114
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-11
- あゆみの家 ☎859-0167 ☎0957-34-3115
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-3
- 法人事務局 ☎859-0167 ☎0957-34-4520
長崎県諫早市小長井町遠竹 2747-6

- 総合相談室 ☎859-0164 ☎0957-34-9700
長崎県諫早市小長井町牧 570-1
- ♣みさかえの園サテライトセンター
☎859-0117 長崎県諫早市高来町峰 468番地27
相談支援事業所スマイルサポート
TEL 0957-27-7010 FAX 0957-27-7006
みさかえヘルパーステーションひびき
TEL 0957-27-7005 FAX 0957-27-7006
デイスペース『あん』 生活介護・生活訓練
☎859-0164 TEL 0957-34-9700
長崎県諫早市小長井町牧 570-1

編 集 後 記

早いもので、今年も上半期が過ぎ、折り返し点を曲がろうとしています。この春、新施設に移転した家などは、まさに、この半年の激動の山をようやく乗り越え、とりあえずは環境や人にも慣れ、ホッとできる時間を取り戻しているのではないのでしょうか。さて、下半期に向けての目標は、いかに変化（良い点悪い点を含めて）を味方にして「良かったなあ」と皆で思えるような心の通った家にしていけるのか、ではないのでしょうか。暑い夏を迎えますが、皆で心ひとつにしようではありませんか！
がんばれ！ ニッポン！！ がんばれ！ みさかえの園！！ （写真に載れなかった編集委員：久井）